

# 設置15年が経過、築63年で装置交換計画

# 給・排水管 長計から更新削除

## NMRパイプテクター

### 設置物件

### 訪問



## コープ野村南石切

# 抜管調査で黒錆化進行を確認

## 「建物の寿命まで現状を維持できると確信」

宮城県仙台市若林区の「コープ野村南石切」(1978年築、3階建て24戸)が配管更生装置「NMRパイプテクター」を設置し15年が経過した。「今」を取材した。

「コープ野村南石切」だ。4年前に専門家に切がパイプテクターを依頼して向こう30年間を設計したのは200の長期修繕計画を立て1年8月、築24年目をた。そこには築63年時迎える年だった。あれにパイプテクターの交換から15年が経過。今年 換予算が組み込まれて築39年を迎えた。



古田武さん。最近、受と配管を譲りた問題がなかったが、「全く問題がなかった」に自信を深めた

「給水管はもとよ、排水管も延命が図られており、長期修繕計画では更新の予定はない」

「給水管はもとよ、排水管も延命が図られており、長期修繕計画では更新の予定はない」

「給水管はもとよ、排水管も延命が図られており、長期修繕計画では更新の予定はない」

## 「排水管洗浄回数を30%削減しました」

「築年数を重ねると、排水管も劣化する。表面が黒錆び化され、配管更新を促していることが確認できた」との評価。排水管も「劣化による赤錆びの進行もなく配管更新されて黒錆び化が確認できた」との評価だった。



高架水槽2次側給水管、赤錆び化は見られず閉塞もなし



排水管も劣化による赤錆び進行がなく黒錆び化を確認

「築年数を重ねると、排水管も劣化する。表面が黒錆び化され、配管更新を促していることが確認できた」との評価。排水管も「劣化による赤錆びの進行もなく配管更新されて黒錆び化が確認できた」との評価だった。

「築年数を重ねると、排水管も劣化する。表面が黒錆び化され、配管更新を促していることが確認できた」との評価。排水管も「劣化による赤錆びの進行もなく配管更新されて黒錆び化が確認できた」との評価だった。